

秋田発のCNCサーボプレス機で世界を狙う

(小林工業 株式会社)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:秋田県由利本荘市石脇字赤ハゲ1-372
- 代表者:代表取締役社長 小林 憲一郎
- 資本金:5,000万円
- 売上高:29億円
- 従業員数:229名
- URL:<http://www.kobayashi-akita.co.jp/>

①事業概要

<金型及び機械設計・製造>

小林工業(株)は昭和27年の創業以来、各種金型製造や研削・プレス機械の製造などを手がけてきた。最近では自社設計・製造のCNCサーボプレス機の開発に力を入れており、競合社では油圧プレス方式が一般的な中、サーボモータでコントロールできる同社のプレス機は、クリーンで細かい制御を可能にしており、また低騒音、無振動、省エネで他社との差別化を実現している。

サーボプレス機の国内市場には飽和の兆しが見えるため、海外市場への参入を目指し、ジェットロと二人三脚で海外展開を図っている。

②海外展開概要

<中国、韓国、欧州への販路開拓>

小林工業(株)ではCNCサーボプレス機の輸出を目指し、平成17年から取り組みを始めた。海外展開にあたってはジェットロの輸出有望案件に申請、優れた技術力や輸出に対する熱意が評価され、平成22年に採択されてジェットロ秋田の支援を受けている。

業界1位、2位の企業が欧州の企業であることから市場シェアを獲得するには欧州市場で認知されることが肝要だと考え、欧州への直接輸出をターゲットとして、販売代理店契約や社内体制の整備を進めている。

また、ドイツでの展示会出展を続け、市場での認知度も上がってきたところ、出展をきっかけに中国・韓国の企業からも引き合いがあり、受注に至っている。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

小林工業では、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業(サポーターインダストリー支援事業)を試作品開発などに活用している。

また、海外展開の取り組みにあたってはジェットロの輸出有望案件事業を活用し、貿易情報センターや専門家からのハンズオン支援を受けている。具体的には展示会への出展支援や代理店契約締結へのアドバイス、EU輸出に必須のCEマーク取得へのアドバイスなど多岐にわたっている。

④今後の事業展開について

小林工業では、ドイツの販売代理店を拠点に、引き続き欧州市場への本格参入を目指す。

そのため、社内に海外事業部を設置したほか、社員の英語スキルアップへの取り組みを行い、平成24年にはCEマークも取得するなど、EUへの輸出体制作りを着実に実施し、積極的・継続的な海外への営業活動を続けていく。



世界市場を狙う小林工業のCNCサーボプレス機